

4

環境保全データ

1. 全社



エネルギー：原油換算値
（電力62%、燃料38%）
化学物質取扱量 1,551T/年
（PRTR対象化学物質）
水 28,700千T/年

産業廃棄物：再資源化産業廃棄物を除く
リサイクル：再資源化産業廃棄物および
産業廃棄物から有価物への転換物

2. 主要事業所

当社の代表的事業所から排出される大気および水質データを以下に示します。排ガスについては代表的な施設

のNOx、SOx、ばいじんを、排水についてはpH、COD、SS、油分（鉱油）を記載します。

大気データ（2000年4月～2001年3月）

千葉事業所

項目	設備	法規制値	協定値	実測値
NOx (ppm)	溶解炉 ボイラ	200 150	63 82	< 30 46 ~ 67.3
SOx (ppm)	*	58	58	3.2 ~ 24.9
ばいじん (g/Nm ³)	溶解炉 ボイラ	0.2 0.25	0.013 0.010	0.009 ~ 0.012 0.0015 ~ 0.0019

* 総量規制

三重事業所

項目	設備	法規制値	協定値	実測値
NOx (ppm)	溶解炉 焼鈍炉	180 180	- -	26 ~ 59 9 ~ 35
SOx (Nm ³ /h)	溶解炉	0.6	-	0.095
ばいじん (g/Nm ³)	溶解炉 焼鈍炉	0.3 0.2	- -	0.02 ~ 0.23 < 0.01

日光事業所（清滝地区）

項目	設備	法規制値	県上乘せ	実測値
NOx (ppm)	加熱炉 溶解炉 ボイラ	200 200 230	- - -	17 ~ 70 75 ~ 170 45 ~ 140
SOx (K値)	加熱炉 溶解炉 ボイラ	17.5 17.5 17.5	14.5 14.5 14.5	0.03 ~ 0.21 0.26 ~ 2.15 < 0.10
ばいじん (g/Nm ³)	加熱炉 溶解炉 ボイラ	0.2 0.2 0.25	- - -	0.002 ~ 0.022 0.001 ~ 0.003 0.001 ~ 0.006

福井事業所

項目	設備	法規制値	県上乘せ	実測値
NOx (ppm)	溶解炉 加熱炉 焼鈍炉 ボイラ	180 130 130 130	120 120 120 120	3 ~ 86 1 ~ 59 1 ~ 11 28 ~ 113
SOx (ppm)	溶解炉 ボイラ	17.5(K値) 17.5(K値)	160 380	5 ~ 41 5以下
ばいじん (g/Nm ³)	溶解炉 加熱炉 焼鈍炉 ボイラ	0.2 0.25 0.25 0.1	0.2 0.12 0.12 0.1	0.005 ~ 0.172 0.005 ~ 0.059 0.005 ~ 0.050 0.005 ~ 0.008

日光事業所（製板工場）

太字は平均値

項目	設備	法規制値	県上乘せ	実測値
NOx (ppm)	溶解炉 加熱炉 焼鈍炉 ボイラ	180 200 200 230	- - - -	50 ~ 81 18 26 ~ 27 69 ~ 101
SOx (K値)	溶解炉 加熱炉 焼鈍炉 ボイラ	17.5 17.5 17.5 17.5	14.5 14.5 14.5 14.5	0.29 ~ 0.35 0.06 0.05 ~ 0.08 0.49 ~ 0.68
ばいじん (g/Nm ³)	溶解炉 加熱炉 焼鈍炉 ボイラ	0.3 0.25 0.25 0.25	- - - -	0.03 ~ 0.04 0.05 0.03 0.05 ~ 0.08

主要設備のみ掲載

4

環境保全データ

水質データ (2000年4月～2001年3月)

千葉事業所

項目	法規制値	協定値	実測値
pH	5～9	5～9	7.6～8.5
COD (mg/l)	25	15	3～13
SS (mg/l)	50	20	1～6.8
油分 (mg/l)	10	2	0.1～0.3

三重事業所

太字は平均値

項目	法規制値	協定値	実測値
pH	5.8～8.6	5.8～8.6	7.38 ～7.67
COD (mg/l)	160	10	1.49 ～4.53
SS (mg/l)	200	25	1.14 ～1.91
油分 (mg/l)	5	5	0.14 ～0.16

日光事業所 (清滝地区)

項目	法規制値	県上乘せ	実測値
pH	5.8～8.6	5.8～8.6	7.0～7.4
COD (mg/l)	160	25	0.8～2.7
SS (mg/l)	200	50	1.1～9.5
油分 (mg/l)	5	5	0.04～0.05

福井事業所

項目	法規制値	協定値	実測値
pH	5～9	5～9	6.87～8.48
COD (mg/l)	600	180【注】	3～114
SS (mg/l)	600	5	5～120
油分 (mg/l)	5	5	0.1～2.6

【注】(COD+0.4*SS)=180

日光事業所 (製板工場)

太字は平均値

項目	法規制値	県上乘せ	実測値
pH	5.8～8.6	5.8～8.6	7.1～8.1
COD (mg/l)	160	25	2.2 ～3.0
SS (mg/l)	200	50	<0.1
油分 (mg/l)	5	5	<1

3. 環境会計

対象範囲 : 全事業所 (ただし、品川事業所を除く)
 対象期間 : 2000年4月1日～2001年3月31日

金額単位: 百万円

環境保全コスト		
分類	主な取り組みの内容	費用額
(1) 生産・サービス活動により事業エリア内では生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト (事業エリア内コスト)	公害防止、地球環境保全、資源循環への取り組みなど	3,360
(2) 生産・サービス活動に伴って上流又は下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト (上・下流コスト)	容器・梱包・ドラム回収再利用など	456
(3) 管理活動における環境保全コスト (管理活動コスト)	環境マネジメントシステム構築および維持管理、環境保全維持管理、環境負荷測定など	452
(4) 研究開発活動における環境保全コスト (研究開発コスト)	環境調和製品研究開発、有害物質代替の研究、製造工程における環境負荷低減の開発研究など	420
(5) 社会活動における環境保全コスト (社会活動コスト)	情報開示、緑化など	36
(6) 環境損傷に対応するコスト (環境損傷コスト)	環境負荷賦課金、土壌汚染・地下水調査対策など	21
合計		4,745

費用額には投資額を含まない

投資額および研究費

環境関連投資額	3,788
(投資額総額)	48,100)
(研究費総額)	15,300)

環境保全対策に伴う経済効果

効果の内容	金額
(1) リサイクルにより得られた収入額	169
(2) リサイクルに伴う廃棄物処理費の削減	-28

環境保全対策に伴う物量効果

環境負荷	環境負荷量	削減量 (前年度比)
(1) 産業廃棄物 (埋立処分量) (トン)	16,213	-901
(2) 揮発性有機化合物 排出量 (トン)	120	1
(3) CO ₂ (C-トン)	172,088	2,434
(4) SO _x (トン)	71	3
(5) NO _x (トン)	641	86
(6) ばいじん (トン)	80	43